

社員の心と体の健康管理

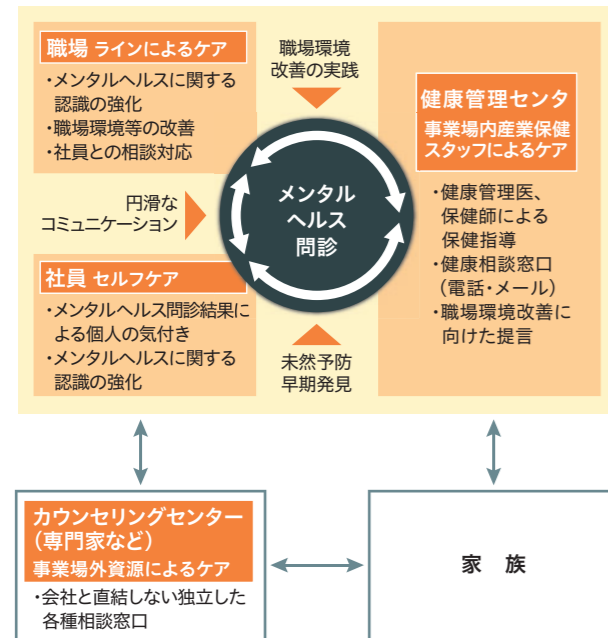
社員の健康を守り、明るく活力のあふれた職場づくりを行うには疾病の未然予防や早期発見が重要です。各種健康診断や社員個々の疾病に応じた保健指導、ならびにメンタルヘルス対策などへの取り組みを推進しております。

保健指導については、法の要請はもとより社内規程に基づき、循環器系疾患、糖尿病および消化器系疾患などへの検査項目を拡充し、多項目健診や節目健診、40歳定期ドックを実施しています。健診の結果、疾病の疑いがある社員に対しては精密検査を行い、検査不要の場合でも保健指導の一環として継続的な管理を行うなど、健康保持に努めています。人間ドックの受検は選択可能な福利厚生メニューであるカフェテリアプランの1メニューとなっており、利用しやすい仕組みにしています。

また、雇用期間に定めのある契約社員などの定期健康診断については、国の指針で努力義務となっている1年以上の雇用で、週の労働時間が正社員の2分の1以上4分の3未満の方に対し、2009年から統一的に実施しています。

メンタルヘルス対策については、従来からWebを活用したメンタルヘルス問診を実施しているほか、カウンセリングセンターの充実を図り、未然予防・早期発見に努めています。心の健康問題により休職した社員に対しては、円滑な職場復帰に向け、健康管理医らと連携した支援体制を確立するなど、各種施策に厚生労働省の指針も踏まえながら積極的に取り組んでいます。

メンタルヘルス対策推進体制イメージ



労働災害ゼロをめざして

円滑な事業運営の推進には、職場などにおける労働安全の確保は極めて重要です。

安全労働を第一に、作業環境の改善や作業現場への安全パトロール、安全点検、安全講習会、地域(関西・東海・北陸・中国・四国・九州)単位の安全大会開催など、各種安全対策を積極的に展開し、安全意識の醸成、基本動作の徹底に取り組み、事故の未然防止に努めています。

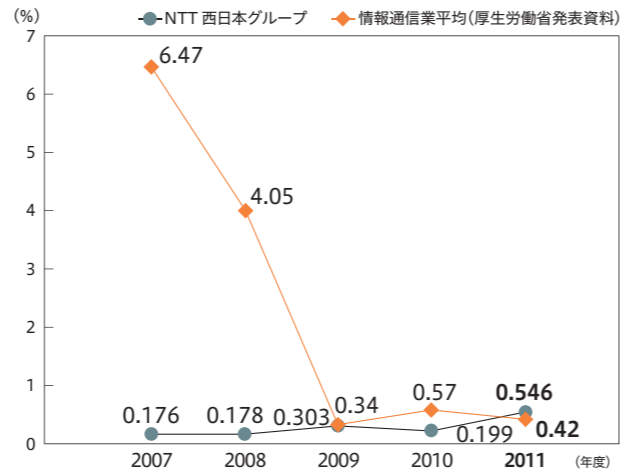
また、連携する通信建設会社の役割も重要との認識のもと、安全確保・事故防止に必要な基本事項について、関連会社も含めたNTT西日本グループトータルで協議、情報共有し、現場への浸透を図る電気通信設備工事安全対策協議会などを活用し、労働災害根絶に向け、積極的に取り組んでいます。

残念ながら2011年度には、40件の労働災害が発生しています。主な原因は、階段などの踏み外し、段差のつまづきによるもので、こうした労働災害発生の実態を踏まえ、基本動作の徹底など、事故の未然防止に向けた各種取り組みを継続的に実施することにより、労働災害ゼロをめざします。



KAIZEN推進大会安全衛生ワークショップの様

災害発生度数率の推移



* 度数率:100万延労働時間あたりの労働災害による死傷者数をもって、労働災害の頻度を表したものである

TOPICS 2011

安全大会2011 in 関西



はしご作業による反動の擬似体験模様



安全大会開会式模様



事故再発防止実演コーナーでの実演模様

労働災害根絶の取り組みの一環として、安全意識の醸成とさらなる安全の取り組みを強化することを目的に、各地域(関西・東海・北陸・中国・四国・九州)単位のNTTグループ会社と通信建設会社が一体となった安全大会を開催しています。

安全大会2011 in 関西では作業中の事故の再現コーナーで電柱やはしごからの転落事故を再現し、体験・体感コーナーで実際にはしご作業による反動の擬似体験を

め参加者に各種作業の体験・体感をしてもらいました。また事故再発防止実演コーナーでは道路上作業での車両飛び込みによる事故防止対策の実演を行うなど、作業安全の大切さを理解するために「事故の恐怖と日常作業の中に潜む危険」を実感してもらう各種の取り組みを実施しました。

これらの体験・体感を通して、社員一人ひとりが「危険に対する感性」を磨き、事故の未然防止と労働災害ゼロの職場作りに取り組んでいます。

社員が取り組むCSR

安心・安全を徹底するために

私たちの仕事は、ときには雨の中電柱に登って故障箇所の探索・修理を行うこともあり、その作業にはさまざまな危険が潜んでいます。どのような場面でも事故のリスクを最小限に留め迅速に故障を回復させるには、何に注意し、どのような手順を進めるべきかを常に考えながら、関係法令を遵守しつつ、「安全は全てに優先する」を基本に不安全行動・不安全状態の撲滅に向けさらなる安全推進業務に取り組んでいます。

NTTホームテクノ
関西支店
設備サービス部
安全推進室 室長
宮本 幹生

